

## 令和2年度 後期基本計画「有識者評価会議」の開催結果について

### 1 評価会議の趣旨

後期基本計画に掲げた事業の取組状況や、目標指標の達成状況等を検証するに当たり、より客観性・信頼性を確保するため、市民参画による外部（第三者）評価を実施した。

### 2 開催概要

- (1) 会議日程 令和2年7月下旬から8月上旬にかけて書面会議により開催  
(※ 今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面による会議とした。)
- (2) 評価委員 学識経験者、各種団体の代表者及び公募市民 計26名  
(委員長：茨城キリスト教大学 池内耕作教授)
- (3) 評価年度 令和元年度（5か年計画の3年目実績に対する評価）

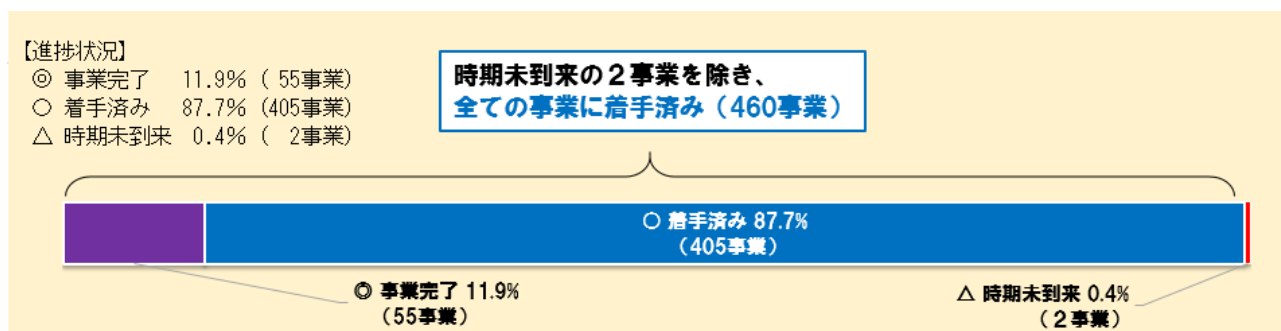
### 3 評価結果等

#### (1) 評価結果

計画の3年目において、登載事業の9割以上に着手するとともに、目標指標の6割以上が計画策定時の数値を上回っていることから、おおむね計画どおりに進捗していると評価された。

#### (2) 具体的な検証内容

ア 計画全体の進捗状況の検証

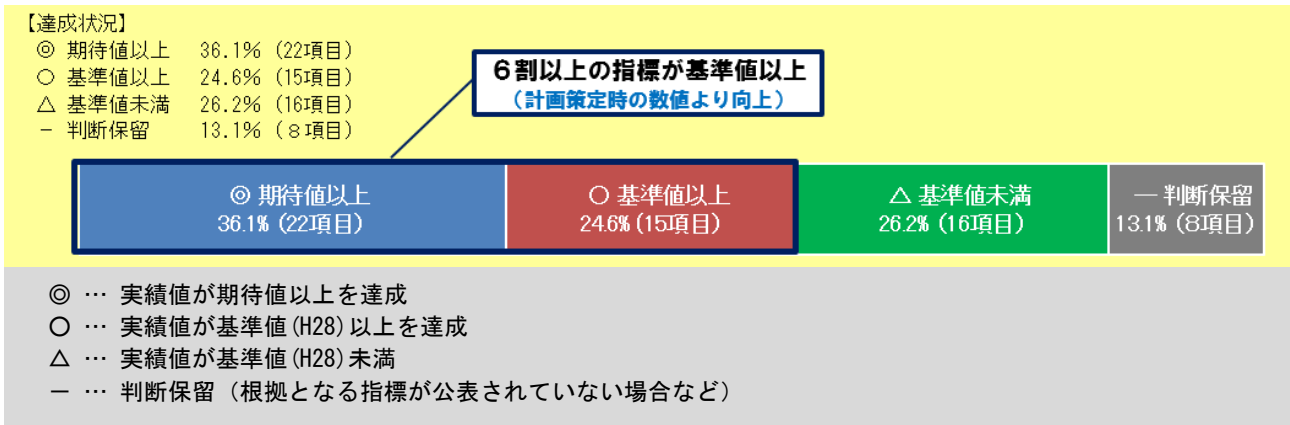


後期基本計画に登載した462事業について、令和元年度末における取組状況を検証した結果、時期未到来の2事業を除き、全ての事業に着手済みであった。

【過年度との比較】

	H29	H30	R元	増減 (H30→R元)
◎	15 (3.3%)	39 (8.5%)	55 (11.9%)	16
○	444 (96.1%)	420 (90.9%)	405 (87.7%)	△15
△	3 (0.6%)	3 (0.6%)	2 (0.4%)	△1

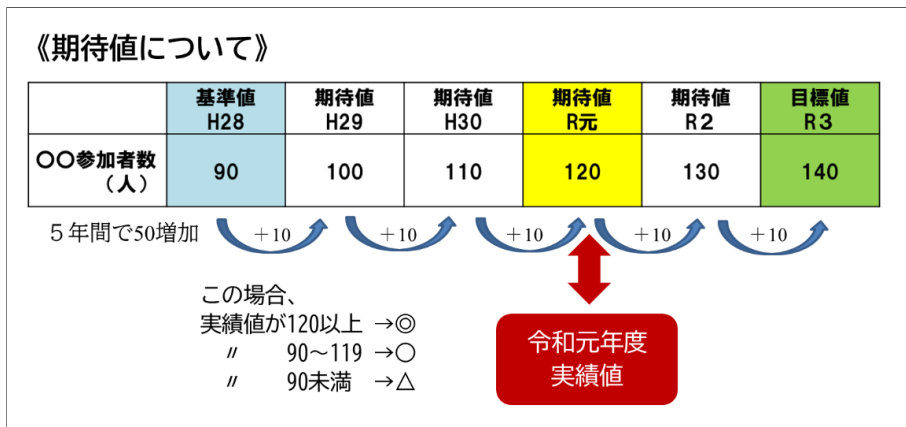
## イ 目標指標の達成状況の検証



後期基本計画で設定した目標指標 61 項目について、基準値 (平成 28 年度) と目標値 (令和 3 年度) から令和元年度の期待値を算出し、その達成度を検証した結果、6 割以上の指標が計画策定時の基準値を上回った。

【過年度との比較】

	H29	H30	R元	増減 (H30-R元)
◎	25 (41.0%)	24 (39.4%)	22 (36.1%)	△2
○	10 (16.4%)	13 (21.3%)	15 (24.6%)	2
△	13 (21.3%)	13 (21.3%)	16 (26.2%)	3
-	13 (21.3%)	11 (18.0%)	8 (13.1%)	△3



## 4 評価委員からの主な意見

【意見】新型コロナウイルスの影響等を考慮した目標値の再検討が必要ではないか。

【回答】

- (1) 新型コロナウイルスの感染拡大は、社会経済活動に深刻な影響を与えており、本市においても製造業、宿泊業や飲食サービス業を中心に大きな影響が生じている。
- (2) 目標値の再設定については、その必要性を十分に認識しているものの、再設定の時期や内容等については、慎重な見極めが必要であると考えており、今後とも新型コロナウイルスの感染拡大状況や国の施策などを、引き続き注視しながら、目標の再設定や次期総合計画の内容について、検討を進めていく。

以上